

平成 29 年度 実践力養成型（寺子屋式）インターンシップ 中間報告会 開催報告書

(1) 平成 29 年度実践力養成型インターンシップ 実施概要

企業名	受入担当	企業内 メンター	ドン	プロジェクト名称	1 年		2 年		3 年		4 年	
					男	女	男	女	男	女	男	女
徳島県赤十字 血液センター	藤倉温	加藤圭一	後藤優樹	若者が振り向く献血キャンペーンの策定	-	1	2	2	-	1	-	-
(株)QLiP	江本大輔	-	浮田浩行	効果的かつ効率的な プログラミング教育の開発	-	-	-	-	1	1	-	-
(社)徳島新聞社	木村直哉	手束泰二	日下一也	新しい新聞の価値を創造するための 市場調査および販売促進の方針提案	-	-	1	-	1	-	-	-
港産業(株)	金田雅哉 野口栄美	林正	矢部拓也	県内および四国全域における ロボット拡販プロジェクト立案	-	1	-	-	1	1	-	-
(株)テレコメディア	平島夏美	葛籠枝美	川崎克寛	コールセンター業務で身につく力を整理し 魅力的なアルバイトとして若者にアピールする	-	-	1	1	-	4	-	-
徳島トヨタ 自動車(株)	安田壮	有持勝也	松嶋一成	若者の購買意欲を刺激するイベントの 企画運営	-	1	2	-	1	-	-	-
徳島大学大学院 社会産業理工学 研究部	原口雅宣	原口雅宣	花房世規 (サポーター)	常三島地区研究機器広報プロジェクト	-	-	-	1	2	-	-	-
大塚テクノ(株)	長谷川恵理	千葉雄介	-	社員がイキイキと働く環境について考える	-	-	-	1	-	1	-	-
アール・エスホーム (株)	福永真理 畠山千夏	多田譲治	金井純子	お客様の声から見える、「豊かさ」のミライ	-	-	-	3	1	-	-	-
(有)榎山農園	堀江祐輔	榎山直樹	橋本直史	経営戦略にちなんだ事業戦略を可視化する	1	-	1	-	1	-	-	-
(株)松本 コンサルタント	森口浩史 武知奈津実	小林行夫	森本恵美	人財確保のためのツール作成	-	-	-	-	3	-	-	-
(社)Disport	高畑拓也 早川尚吾	-	畠一樹	未来を生き抜く子どもを育てるアクティブラーニン グのプログラム開発	1	-	-	1	1	1	-	-
(株)あわわ	大汐哲也	-	北岡和義	WEB うえ〜ぶプロジェクト web コンテンツの制作および web 勉強会の開催	-	-	-	1	-	-	-	1
廣間組(有)	松本恭典	西田靖人	尾野薫	木頭杉ブランド再生プロジェクト 木頭杉を使ったツアーの企画	-	-	-	-	2	3	-	-
(株)ネオビエント	藍原理津子	-	大淵朗 宮川純子	「働くとは」を考える	-	1	-	-	-	-	-	4

(2) 平成 29 年度実践力養成型インターンシップの流れ

時期	項 目
4 月	企業訪問・プロジェクト組み立て コーディネーターが受入団体を訪問し、プロジェクトの組み立てを行う。 (46 社訪問)
5 月	インターンシップフェア開催 (5 月 11 日) 受入団体が学生にプロジェクトの紹介を行うインターンシップフェアを開催。 (プレゼン企業 15 社 / 来場者数 221 名)
6 月	マッチング 受入団体とエントリー学生が面談を行い、マッチングを行う。 PROG テスト受験 社会人基礎力を測る自己分析テストを受験。
7 月	事前研修 参加学生に対し、コーディネーターが事前研修を実施。(最低 180 分×3 回)
8 月	事前講習 受入団体担当者に対し事前講習を実施。
8 月	インターンシップ開始 プロジェクト毎に随時インターンシップ開始。 受入団体数 15 社 / 参加学生数 54 名
9 月	第 2 回ドンミーティング 各プロジェクトを担当するドン（学内メンター）とコーディネーターが中間報告会の方針について協議。
9 月	企業訪問 インターンシップスタートアップの企業訪問。
10 月	第 2 回ドンミーティング 各プロジェクトを担当するドン（学内メンター）とコーディネーターが中間報告会の方針について協議。
10 月	ポスターセッション講習を実施 中間報告会に向けての振り返りとポスターセッションについての講習を実施。
10 月	中間報告会開催 (10 月 20) プロジェクトの進捗報告、気づきの共有のため、中間報告会を開催。 ①各プロジェクトチームのポスターセッション ②他プロジェクトの参加学生・受入団体との情報交換
11 月	第 3 回ドンミーティング 各プロジェクトを担当するドン（学内メンター）とコーディネーターが最終報告会の方針について協議。
12 月	最終報告会に向けたフォローアップ 最終報告会に向けての資料作成アドバイス、プレゼン練習などを実施。
12 月	最終報告会 (日時未定) プロジェクトの成果報告を行う最終報告会を実施。
12 月	企業訪問 最終報告会前の受入団体訪問。 ・最終報告会についての説明 ・プロジェクトの進捗確認 等
1 月	修了生振り返り会 (日時未定) インターンシップに参加しての学びを深めるための振り返り会を実施。
1 月	受入団体振り返り会 (日時未定) 今回のインターンシップの知見の共有と来年度のインターンシップの課題についての協議。
1 月	第 4 回ドンミーティング 各プロジェクトを担当するドン（学内メンター）とコーディネーターが次年度の方針について協議。

(3) 主旨・目的

実践力養成型（寺子屋式）インターンシップにおける、プロジェクトの進捗の中間段階において、これまでの取り組み状況の振り返りを行い、プロジェクトの進捗と成果物の質について相互評価すると共に、各プロジェクトに取り組む受入団体、学生、ドン（学内メンター）間での情報交換を行い、目標達成に向けた課題の整理や今後必要となる取り組みの確認、意識の共有を図ることを目的として中間報告会を開催した。

(4) 日時

平成 29 年 10 月 20 日（金）13：00～18：00

(5) 場所

徳島大学地域創生・国際交流会館 5 階 フューチャーセンター『A.BA』

(6) 参加者数（インターンシップ受入団体 15 社）

受入団体担当者	22 名（14 社）
インターンシップ生	43 名（14 社）
ドン（学内メンター）	4 名（4 社）
学内関係者	3 名
運営スタッフ	11 名 ※うち 7 名が昨年度実践力養成型インターンシップ修了生
合計	83 名

(7) プログラムの内容

1. ショートスピーチ付きポスターセッション

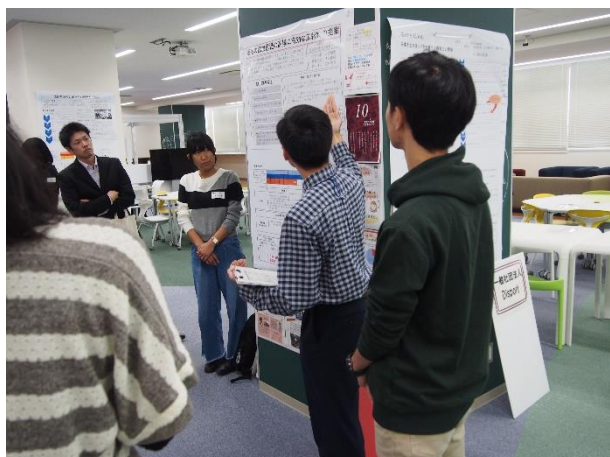
各プロジェクトの代表者 1 名が参加者全体へ向けて 1 分間のショートスピーチを行った後、インターン生および受入担当者より、各プロジェクトでの取り組み内容と現在の進捗、および振り返りに基づいた今後の方針等をまとめたポスターの発表をポスターセッション形式で実施した。



ショートスピーチの様子



ポスターセッション会場の様子



ポスターセッション会場の様子

2. グループワーク①

グループワーク①では、プロジェクトの垣根を超え、参加者で5～7名のグループをつくり、20分×2ターンのグループワークを実施した。プロジェクト毎にテーブルと座長を配置し、「座長のチームのプロジェクトを完遂するにあたって問題・課題になっている点の解決をどう図るか」をテーマとして取り挙げ、他プロジェクトの参加者と意見交換を行った。

3. グループワーク②

グループワーク②では、プロジェクトメンバーで集まり、ポスターセッションやグループワーク①で各自が得てきた情報の共有および今後のプロジェクトの進め方についての協議を行った。



グループワークの様子

4. 決意表明

中間報告会を通して感じたこと、気づいたこと等を踏まえ、改めて今後のプロジェクトに対しどう取り組んでいくかの意気込みを、参加者全員から一言ずつ、決意表明を述べた。

また、運営スタッフとして参加してくれた実践力養成型インターンシップ 1 期生から、今年度インターン生へ、エールメッセージを送った。



決意表明（松本コンサルタント(株)インターン生）



決意表明（(有)檜山農園受入担当者）



決意表明（アール・エスホーム(株)ドン）



エール（実践力養成型インターンシップ 1 期生）

4-1. アンケート（項目・原紙）

COC+事業 H29 年度実践力養成型インターンシップ 中間報告会アンケート

①ご所属について教えてください。

ご所属： ☐ インターン生（受入先： ） ☐ 受入団体担当者様
☐ ドン ☐ 学内関係者 ☐ その他（ ）

②これまでのインターンシップ事業の中での感想やお気づきの点などございましたら教えてください。

プロジェクト 組成時	
インターンシ ップフェ ア	
マッチング	
事前研修・ 事前講習時	
インターン開 始前後	
インターン施 行時（現 在）	

③ドンに求める今後のサポート（関わり方、頻度）等についてご要望等ございましたら教えてください。

--

④COC+スタッフに求める今後のサポート（関わり方、頻度）等についてご要望等ございましたら教えてください。

--

⑤本日の実践力養成型インターンシップ中間報告会の感想について教えてください。

--

⑥その他、お気づきの点やご感想などがございましたら教えてください。

--

4-2. アンケート（結果）

①回答者の属性について

回答者属性	回答数
受入団体担当者	5
インターン生	23

②これまでのインターンシップ事業の中での感想やお気づきの点について （受入団体担当者）

項目	回答
プロジェクト 組成時	・ インターンの人数に対応できる柔軟なプロジェクト組成が必要だった。
インターン シップフェア	・ 参加人数が見えない状態でのプロジェクト組成が難しかった。
マッチング	・ 事前会社見学もあっていいのかな。 ・ 難しいんだろうなあと…。 ・ 企業、インターン生、ドンの三者でマッチングを行うことが非常に大切だと感じました。
事前研修・ 受入講習	・ プロジェクトにおいてどのような研修が必要なのか検討できていなかった。
インターンシ ップ開始前後	・ 時間を有効に使えなかったと反省しています。 ・ 学生との関わり方にとっても悩みました。
インターンシ ップ施行時 （現在）	・ もう少し意見出しをする機会があればよかったかもしれない。 ・ 残りのタスクが多いので、スケジュール調整が必要です。

（インターン生）

項目	回答
プロジェクト 組成時	・ 不安と期待。 ・ おもしろそう。 ・ 色々できそうでモチベーションは高かった。 ・ より具体的な計画の立て方を知っていれば良かった。 ・ 正直、プロジェクトに対する見通しが悪かった。 ・ 多くの人が参加しているんですね。
インターン シップフェア	・ 行っていなかった。 ・ 徳島の魅力的な企業がたくさん知れてうれしい。 ・ ロールモデルである葛籠さんと平島さんに出会えてよかった。 ・ おもしろそう。やるしかないやん♪ ・ 様々なブースで気軽に話を聞けて良かった。 ・ いろいろな企業がきて大人な話をしていると驚いた。 ・ どのプロジェクトも興味があった。 ・ 様々な企業があり驚いた。 ・ フェアのパンフレットと実際の企業の実態が異なっていることがある。 ・ 様々な企業さんが参加されていたが、企業間の協力があるのかが不透明であった。 ・ 本当に迷いました。

マッチング	・楽しみ。 ・他のインターン生に勝手に期待していた。 ・3年生が多くて、迷惑かけないかなあ、足引っ張らないかなあと不安だった。 ・おもしろそう。 ・面接の時、すごく話しやすかった。 ・良くも悪くも似たものが集まるのかなと感じた。 ・自分の希望通りにはいかなかったが、徳島新聞でよかったと考えている。 ・良かったと思います。
事前研修・ 受入講習	・ためになった。 ・研修で学んだことはとても良いことだった。その学びを活かしている人に個人差が大きく、アフターフォローも欲しかったです。 ・他のインターンシップ生との関わりをもつことができた。 ・社会人のマナーなど気をつけることがたくさんあると感じた。 ・カフェの視察は面白かったし、勉強になった。今も店に入ったら色々な事を気にしている。 ・事前研修時はそこまでどう学んだところが活かせるか具体的にイメージできませんでしたが、インターンをやっていく中でとても生きてきています。QCDとか…。 ・社会人基礎力が備わってなかったと自覚できた。 ・期限・マナーの大切さ。 ・社会人は先を見て行動しているということが分かった。 ・研修で学んだ事はプロジェクトで活かせるので、もっと活用していればよかった。 ・基本的なことが再確認できたのは良かった。 ・少し抽象度高めでつらかったです。
インターン シップ 開始前後	・本当にやっていることは正しいのか、など方向性に疑問があった。 ・再び期待と不安。 ・インターンが始まる前に学生間でチームになれなかった。 ・どのような頻度で進めればいいのか分からなかった。 ・不安なこと、分からないことが多かった。 ・インターン先毎に集まるイベント(?)や機会があればいいかな? ・丁寧な説明や日程、プロジェクト内容の確認を行ってもらえてうれしかった。 ・さあやるぞ! ・どれくらい大変かを想像しきれていなかった。 ・ゴールが分からない。 ・結局ミッションって何? ・なんとなくやっていた所や責任をもてていなかったことがあった。 ・コミュニケーションが不足していた。混乱していた面もあった。 ・自分で希望したのでやりきりたいと思います。
インターン シップ 施行時 (現在)	・とにかく自分はできない、でも頑張るしかない。 ・戸惑い。 ・何をすべきかが見えてこない。 ・未だにメンバーがどんな感情とか、何を考えているか分からないので、自分の“働きかけ力”向上と思って頑張ります。 ・企画をうまくプレゼンできるよう頑張りが続くと考えられる。 ・企業側に頼ることが多いので、自分で考えることもこれから実行していきたい。積極的に意見が言えるようにしたい。 ・自分を変えたい! 変わると信じて、残りの期間全力で走り抜ける。後悔したくない。

- ・色々な事を学んだ。確認の大切さ、思考の仕方など。今現在、会議の質があまり良くないと思うのでまずはアジェンダ作りから始めようと思います。
- ・作業分担、ミッション成果に対する執着心がメンバー全員にあり、これからこのモチベーションを保ってやっていきたい。
- ・企業側のニーズを聞き出したい。
- ・ゴールは自分たちで設定しよう。
- ・ゴールをしっかりと「決める」ことが必要だと思った。
自分の想定よりも多くの困難がありましたが、メンバーやCOC+の方のおかげでモチベーションを上げることができました。
- ・課題は多いが前向きに取り組んでいると感じている。
- ・企業と同じ方向を向けていると思います。

③ドンに求める今後のサポート（関わり方、頻度）等についての要望 （受入団体担当者）

（関わり方について）

- ・現時点では問題ありませんが、スタート当時は少し戸惑った事もありました。

（インターン生）

（感想）

- ・気にかけて頂いていたし、第三者の目線を頂いていたので有り難かったです。
- ・今まで通りで大丈夫です。お世話になっております。
- ・非常に参考になる意見を頂いています。これからもご支援お願いいたします。
- ・私たちメンバーの方から積極的に広報に関して意見やアドバイスを求めていると思う。
- ・これからプログラミング授業内容の構成でご相談する機会が増えると思うのでよろしくお願い致します。

（関わり方について）

- ・学生の作っているものに意見をもう少しほしい。
- ・（忙しいのはとにかく分かっている上で）もう少し直接お話したい。
- ・ドンとはあまり向こうからは来ず、こっちから行かないといけないという関わり方です。困った時に一緒に動いてくれる存在の方が良いのではないかと思います。
- ・情報提供お願いいたします。
- ・企業側に対して矛盾点を追求してくれるようにしてほしい。
- ・ドンに何を求めればいいのでしょうか…。
- ・ドンがどのような存在・立場なのかよく分かりません。
- ・今は不明です。

（関わる頻度について）

- ・ドンのプロジェクト参加率はほぼないので、その向上。
- ・せめて月1回は出席してほしい。

④COC+スタッフに求める今後のサポート（関わり方、頻度）等についての要望 （受入団体担当者）

（関わり方について）

- ・特に要望はありません。

(インターン生)

(感想)

- ・ 普段からご意見頂けてとても支えになっています。これからもサポートよろしくお願いします。
- ・ 今のままで。レスポンスも早く、とても助かっている。
- ・ 親身に相談に乗ってくださり、ありがとうございます。
- ・ 今後、困ったことがあればご相談させてもらうかもしれません。そのときはよろしくお願いします。
- ・ こっちからアプローチかけまくるので、いろいろ教えてください！！
- ・ これからもたくさんご迷惑をかけるかもしれません。私たちは最後までやりきります。また頼らせてください。
- ・ 今まで通りでお願いします。
- ・ 関わりとしては今の感じで良いと思いますが、もう少し人数がいた方がいいんじゃないかとは思いますが。(COC+の方々の体調が心配です。)
- ・ 本当に世話になりました。

(関わり方について)

- ・ ミーティングのたびにまとめをするので、その説明を受ける役割をしてほしい。
- ・ 企業側に主旨の理解度を確認してほしいと感じた。
- ・ 第三者的視点で見て欲しい。
- ・ 集まらないといけないときは、可能な限り終了予定時刻を教えてほしい。

(関わる頻度について)

- ・ 企業と学生だけでやるのではいい視点が出ないこともあるので時々参加してほしい。

⑤本日の中間報告会の感想について

(受入団体担当者)

- ・ いい企画。勉強になる。
- ・ 他プロジェクトでの問題解決方法が参考になりました。
- ・ 他プロジェクトの貴重な意見を頂けて本当に良かったです。また、モチベーションアップの機会にもなり、今後のプロジェクト進行に希望が持てました。ありがとうございました。
- ・ 他社に行っている学生から率直な意見を聞くことができて非常に参考になりました。学生にも今回の意見を真摯に受け止め、今後に活かして欲しいと思います。

(インターン生)

- ・ 他のインターン生がどのようなことで悩み、解決したか意見の共有ができた。
- ・ 様々な企業のインターン生の方々と意見を共有することで、自分たちのプロジェクトの良い点や課題を見いだすことができ、とても参考になった。
- ・ 今まで聞けなかった他の企業さんの話や、学生の意見が多く聞けて非常に有意義だったし参考になった。
- ・ もう少し時間がほしかった。(いや、無理は分かっております)
- ・ 他グループの活動はよく話し合えているなと思った。
- ・ どのチームも素直に報告&交流してくれてうれしかったです。
- ・ おもしろかった。5限しか出られなかったのも、全部見られたらよかった。
- ・ 良い経験になりました。やらなければいけないことも少しずつ明確になったので、これから丁寧に

取り組んで行こうと思いました。

- ・途中からしか参加できなかったが、悩みながらも前に突き進んでいる同じインターン生に励まされた。良い場だった。
- ・おもしろかった。もっと他のインターン生と関わりたいなあ。
- ・他企業のインターン生、受入担当様に様々な新鮮な意見を頂き、大変参考になりました。今後、成果に執着して最後までQCDを意識して取り組んでいきます。
- ・みんなが様々な思いと課題を持っていることに気づけたので協力していきたい。
- ・他のインターンシップの方からのアドバイスを頂けてとても良かったです。
- ・他のチームの進捗状況、私たちのチームと同じような悩みを抱えているチームや人との情報共有ができ、何をしなければいけないのか見えてきた。
- ・こういった他のインターンメンバーや企業さんと話ができる機会は重要で、もっとあってもいいのではないかと思います。
- ・新たな視点で自分たちのプロジェクトを捉え直せてとても有意義であった。
- ・とても良かったです。みんな頑張っていることが分かりました。

⑥その他お気づきの点や感想

(インターン生)

- ・企業さんにももっと寄り添います。ありがとうございます。
- ・報告会でなくても頻繁に他インターン生との関わりの持てる機会が欲しい。
- ・ポスターセッションに初めて参加したが、今後使える手法だと感じた。
- ・このインターンを通して自分のやりたいことが見つかった気がします。最後までやりきります。